

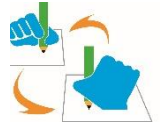
議員活動通信

日田市議会議員

なかしま章二



日田市手話言語条例 制定!



「写真提供：一般財団法人全日本ろうあ連盟」

令和4年第一回(3月)定例会において、「日田市手話言語条例」が可決され、令和4年4月1日に施行されました。

この条例については、社会福祉法人大分県聴覚障がい者協会から、平成30年5月と令和3年3月に、条例制定の要望が提出されていました。

その後、令和3年6月議会で私が一般質問でとりあげ、市点から、市民一人ひとりにとつ長から「手話条例、こういうものがやっぱり必要だと思っというに、市民と行政が協力して、る。絵に描いた餅のような条例をつくっても何もならない。しっをつくっていきましょう。」

かり実行力のある、そして持続可能な状況で、今後続けていくことのできるものを知恵を出し合いながらつくっていくればと考えている。」との答弁がありました。あわせて早急に、制定への取組を要望したところでした。

今回の制定は、関係者の皆様の働きかけの成果として、非常に喜ばしいことです。しかしながら、この条例が理念だけにとどまらず、実行力が発揮されるよう、施策をともなったものになることが重要です。関係者の皆さんと協働でアイデアを出しあいながら、「誰もが暮らしやすい日田市」を育てなければいけません。聴覚障がい者だけに對する条例ではなく、すべての市民にとって必要なものとして、この条例をスタートとして、合理的配慮の観点から、市民一人ひとりにとつ

「令和4年度市政執行基本方針と予算案」他「ウィズコロナ下での未来社会の創造」 感染症対策を徹底しながら、市内外の情勢や国や県の動向にに応じて、必要な対策を躊躇せず機動的に講じていくこととし、具体的には、次の4点が特筆されています。

- ① 新型コロナウイルス感染防止対策
- ② 市内事業者への事業継続の支援
- ③ デジタル社会に対応するための資質や能力の育成
- ④ 総合的な子ども支援拠点の創設

なお、3月定例会では、当初予算等と追加議案等を含めて42議案について審査をいたしました。追加議案は、市議会議員の期末手当を、年0.1か月分引き下げる議員提出議案等と「ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議案」が発議され、審査の結果40議案は全会一致で可決、2議案は多数をもって可決されました。

令和4年度当初予算

令和4年度日田市一般会計予算は、歳入歳出の総額を、対前年度比**2.1%減**の**373億1781万3千円**です。

(※以下の増減%は対前年比)

【歳入】市民税は、新型コロナウイルス感染症による経済への影響が長期化しているものの、昨年度の課税状況や政府統計の数費等を参考に算定されました。個人・法人市民税総額では**1.9%(5134万円)**増。固定資産税は、軽減措置が終了などにより**1.8%(4億604万7千円)**の増と見込み算定。市税全体では**7.0%(5億651万6千円)**増の、**77億2897万3千円**を計上しています。

【歳出】災害復旧費が「令和2年7月豪雨災害」の復旧費減により、**63.5%(9億6004万円)**減の**5億5287万4千円**となりました。商工費は「日田式GOTOトラベルキャンペーン事業」が増となったものの、「中小企業者等

事業継続支援事業」の減などにより、**13.6%(1億3217万8千円)**減の、**8億4057万円**。教育費は「地区公民館整備事業」や「総合体育館施設整備事業」の減などにより、**10.6%(4億6758万5千円)**減の**39億2680万円**などです。

土木費は「都市計画道路 三郎丸西有田線改築事業」や「社会資本整備総合交付金事業」の増などにより、**9.4%(3億484万6千円)**増の**35億5321万4千円**。

総務費は「普通財産施設解体事業費」や「情報センターの公設民営化後」の周波数変更業務に係る費用の増などにより、**7.1%(3億566万1千円)**増の、**45億9536万6千円**。衛生費は、「新型コロナウイルススワクチン接種事業費」の増などにより、**6.4%(2億580万3千円)**増の、**34億1167万円**とされています。

令和4年度一般会計当初予算の概要

	令和4年度予算額 (A)	令和3年度予算額 (B)	差引増減額 (C) [(A)-(B)]	対前年度伸率 (C)/(B)×100
	(千円)	(千円)	(千円)	(%)
一般会計	37,317,813	38,111,857	△794,044	△2.1
※通常ベース分	36,575,845	36,620,503	△44,658	△0.1

※通常ベース分は、下表の令和2年7月豪雨災害「日田市復旧・復興推進計画」に係る事業費を除いたものです。

令和2年7月豪雨災害「日田市復旧・復興推進計画」に係る事業

区分	令和4年度	令和3年度	差引増減額
事業数	21	14	7
事業費(千円)	741,968	1,491,354	△749,386

令和4年度主な新規事業

事業名		事業費(千円)	事業名		事業費(千円)	事業名		事業費(千円)
1	電子申請システム更新事業	2,586	11	「進撃の巨人」プロジェクト支援事業	1,000	21	ケーブルテレビ利用料金助成事業	9,181
2	オンライン手続支援システム構築事業	7,222	12	小野地区多目的施設解体事業	1,252	22	伝送路設備更新事業	16,764
3	情報システム標準化事業	29,956	13	石井工業団地雨水浸水対策事業	5,000	23	都市防災総合推進事業	27,450
4	テレワーク環境整備事業	26,641	14	進撃の巨人を活用した誘客促進事業	2,834	24	宅地耐震化推進事業	1,600
5	リモート会議環境整備事業	27,426	15	鯛生金山地盤改良事業	9,881	25	小中学校防犯対策強化事業	3,550
6	保育所における事務効率化推進事業	4,981	16	地域公共交通計画策定事業	11,847	26	大山文化センター管理費	11,837
7	支援対象児童等見守り強化事業	9,729	17	市道中間小五馬柚木線改良事業	15,000	27	ツール・ド・九州2023実施事業	1,550
8	日田産地パワーアップ事業	14,750	18	砂防ダム流末排水路整備事業	9,009			
9	津江地域産地づくり実証事業	1,893	19	ケーブルテレビ設備整理事業	62,764			
10	高度総合木材加工団地調整池維持管理事業	26,000	20	ケーブルテレビ利用料金差額補助事業	7,849			



日田市役所



日田市陸上競技場横の「しだれ桜」

3月議会 代表質問と答弁

日田市手話言語条例案について

【中島】手話による円滑な意思疎通の支援について伺う。

【福祉保健部長】手話や筆談による相談支援を行う「手話通訳者設置事業」を引き続き行っていく。また、条例を制定する中で、ろう者やその家族と日常生活での困りごとなどの意見交換会を行ってきましたが、条例制定後も引き続き、ろう者や関係団体と協議する場を設け、支援がより良いものとなるよう取り組んでいく。

【中島】市職員の手話通訳者の増員について伺う。

【福祉保健部長】現在、社会福祉課で2名配置し1か月に17日間、2人が交代で会計年度職員という身分で勤務している。今回の条例制定後は、関係者の皆さんと相談して、必要があれば、配置について検討していきたいと考えている。



【中島】手話への理解の促進及び施策の推進について伺う。

【福祉保健部長】「広報ひた」において、簡単な手話の紹介や、手話を動画で見ることのできる二次元コードの掲載などを行い、手話を身近に普及できる環境づくりに努めていく。また、手話の日常会話編や医療機関編などのパンフレットをろう者の意見を取り入れながら作成し、関係機関に配布する取組や事業所や学校などで開催する手話講座への講師の派遣を行うことも考えています。

日田市総合的な子ども支援拠点事業について

【中島】この事業について、なかなか進展していないように感じるがその理由について伺う。

【市長】学校教育の一部をどうやって支えるかという課題がどんどん入ってきた。そうすると、施設の整備そのものが、ずいぶん違うものになるということで、整理をまさに今、進めている状況である。

【中島】教育支援機能を含めた学校教職員や保護者が活用しやすい拠点として、教育委員会の考えを伺う。

【市長】福祉と教育の両面からのいわゆる総合的そして専門的かつ継続的な支援が図られるということを目指しており、議論を進めていきたいと考えている。

【中島】今回、教育部局が大きく入ってきた内容になっていますが、どのような体制で考えていくのか伺う。

【市長】出来上がった施策そのものを実行できる体制、それがこれを運営していく体制になっていくだろうと思っているので、まず、しっかり機能というものを確実に決めていきたい。



3月議会 代表質問と答弁

コロナ禍における学びの保障について



【中島】在宅でのタブレットの活用状況について伺う。

【教育次長】WEB会議システムにより、家庭と学校をつないで双方向での朝の学活を行い、1日のスケジュールの伝達や健康観察を行う。オンライン授業においてAIドリルを活用し、一人ひとりが今どのように問題を解いていて、どの問題でつまづいているかを把握し、適切な指導を行った。このオンライン授業は小学校の低中学年は、午前中の2時間、小学校の高学年や中学生はそれに加えて午後の1時間を行ったという学校が多かった。

【中島】休校等で、オンライン授業を実施してきたということですが、家庭の通信環境の整備はできているか伺う。

【教育次長】家庭のルーター接続方法については、持ち帰り接続マニュアルを作成し配布している。貸出用のルーターは設定を行ったうえで貸出をしていることから、数件の問い合わせがあったが問題なく実施できた。

【中島】家庭で通信環境が整わない場合、先生方が家庭まで行って環境確認を行ったと聞きました。今後、休校等になった場合に備えて、事前準備をしっかりと行う必要性があると思いますので、今後よろしくをお願いします。



教職員の働き方改革の現状について

【中島】文科省において実施された「学校の働き方改革の取組状況調査」における、全国と日田市の時間外在校等時間が、月45時間以上の教職員の割合について伺う。

【教育次長】令和3年6月及び7月を例にしますと、月45時間以上の時間外在校等時間の割合は、小中学校ともに全国と比較して、日田市の方が3%から13%多い状況であった。

【中島】小学校教科担任制の教員の働き方改革に関する効果について伺う。

【教育次長】令和3年度は、小学校教科担任制推進教員配置校(3校)にて、加配により、教員と学級担任による高学年の教科担任制の授業を行っている。さらに、学校独自の取組として、12校にて、学級担任等が学級を入れ替えて授業を行う教科担任制の授業を行っている。授業準備、日記指導や課題添削に充てる時間が確保されること、また、担当する教科が専門的に絞られることから、授業準備に充てる業務量とその時間を短縮できることがあげられ、学校独自に行っている学校でも、業務量と準備時間の縮減が効果として挙げられると認識している。

	小学校			中学校		
	全国	日田市	比較	全国	日田市	比較
6月	46.3%	59.7%	13.4%	60.4%	68.5%	8.1%
7月	23.2%	26.2%	3.0%	45.9%	51.1%	5.2%

発行：日田市議会議員 中島 章二

〒877-0006 大分県日田市港町8-64

携帯電話 090-8412-9143

